

東亞新編
第五卷
社會學

西國立志編

原名
自助論

第六冊

9
4129
6



9
4129
6



41- 6267



自助論第八編自序

陸運氏自序

或曰。泰西多出剛毅之人。蓋一由于天氣。沍寒。軀
幹堅實。一由于土地。磽确。非勤勉不得食。余曰。此
事。容或有之。然其大本。不在此。區々者曰。何也。曰。
泰西人所以多有剛毅之行者。由于有剛毅之原
質也。曰。何謂剛毅之原質。曰。慈也。信也。不觀襍未
耶。維廉士之事乎。確信其道。愛人如己。痛苦不避。
死生不易。不觀翰回。沙伯之事乎。多救嬰兒之命。
永脫黑奴之苦。千艱萬阻。不挫不折。必達其志。而

後已。蓋如此數人。肝脾骨肉。毛髮爪甲。皆由慈與信而成。故此身苟存。此心不喪。欲不剛毅。奚可得乎。以是可見剛毅者心志之力。而慈與信實其原質也。或曰。世固有強忍有力者。亦可謂剛毅之人乎。曰。非也。如李斯。呂惠卿。豈不是強忍有力者。然其所為。不根於慈信之心。而出於嗜慾之私。故弊害所極。身喪國敗。宜尼不云乎。根也慾焉得剛。

自助論第六冊目錄

第八編 剛毅ヲ論ズ

- ① 人ノ品性ハ小事ノ中ニ著レ○鋌ヲ揮ノ力
- ② 剛毅ノ心志
- ③ 人夙ニ事業ニ志ヲ立ベシ
- ④ 一時一事
- ⑤ 勇猛ノ工夫
- ⑥ 心志ノ力附ムリスノ大將
- ⑦ 志願スルトコロノヒノハ必ず得ベシ
- ⑧ 志意ハ自己ニテ主張スベシ
- ⑨ 拉面奈ノ書
- ⑩ 勃古斯敦子ヲ戒ムル書

- ① 心志アレバ必ズ便宜アリ
- ② 拿破崙ノ好デ誦スル格言
- ③ 空林登職分ノ字ヲ常ニ心ニ存スル事
- ④ 果決神速ノ貴ベキ事
- ⑤ 拿破崙瞬息ノ機ヲ窺ヒ敗ヲ轉ジテ功ト爲セシ事
- ⑥ 哈斯丁士七歳ノ時田産ヲ恢復セント志セシ事
- ⑦ 那比爾印度ニ於テ奇勲ヲ策スル事
- ⑧ 那比爾三軍ニ信服セラレシ事
- ⑨ 那比爾印度ノ ダヨグラー ヲ試シシ事
- ⑩ 印度叛亂ノ事并ニ英人節ニ死スル事
- ⑪ 雜末耶東洋ニ航スル事
- ⑫ 戎維廉士蠻民ニ殺レシ事

- ⑬ 律賓斯敦亞弗利加ニ至リシ事
- ⑭ 戎厚亞德獄制ヲ改革セシ事
- ⑮ 若那士翰回善法ヲ創メ邦人ヲ惠シシ事
- ⑯ 額蘭未爾沙伯黑奴賣買ノヲ禁止セシ事
- ⑰ 勃古斯敦ノ讀書法并ニソノ名言

斯邁爾斯自助論一名西國立志編
第八編 剛毅ヲ論ス
古史ニ曰凡ソノ爲トコロノモ人皆能ク心カヲ盡
シテユレヲ爲トモハ後ニ必ス福祉ヲ受ルコトアリ
○人ノ品性ハ小事ノ中ニ著レ
○鈍ヲ揮ノ力
北人ノ古語ニ予像神ヲ信ゼズマカ魔鬼ヲ信ゼズタ全
ク吾心思ハカト身體ノ力トニ倚賴スト云ル又古人ニ鋤
頭ヲ用ヒ其ト次ノ語ヲ加ルモノアリ予方法ヲ覓
テ得ズトモ方法ヲ造リ出スベシ
○皆去度泥種ノ人
剛勇言ニ屈セズ能ク自主自立スルノ志ヲ道出セシ語
ナリ○人ノ品性ハ瑣小ノ事ノ中ニ見顯ハサルナリ
○鈍ヲ揮ノ力
○如キ至テ微ナル事ト雖モ其人ノ力ヲ用ル

斯邁爾斯自助論一名西國立志編

第八編 剛毅ヲ論ス

古史ニ曰凡ソノ爲トコロノモ人皆能ク心カヲ盡

シテユレヲ爲トモハ後ニ必ス福祉ヲ受ルコトアリ

○人ノ品性ハ小事ノ中ニ著レ

○鈍ヲ揮ノ力

北人ノ古語ニ予像神ヲ信ゼズマカ魔鬼ヲ信ゼズタ全

ク吾心思ハカト身體ノ力トニ倚賴スト云ル又古人ニ鋤

頭ヲ用ヒ其ト次ノ語ヲ加ルモノアリ予方法ヲ覓

テ得ズトモ方法ヲ造リ出スベシ

○皆去度泥種ノ人

剛勇言ニ屈セズ能ク自主自立スルノ志ヲ道出セシ語

ナリ○人ノ品性ハ瑣小ノ事ノ中ニ見顯ハサルナリ

○鈍ヲ揮ノ力

○如キ至テ微ナル事ト雖モ其人ノ力ヲ用ル

心トカ試シ知ラハベシ。サレバ斯干垓那比亞部連馬瑞典ノ柳耳部連馬瑞典古ノ神像ニ。其箇ノ鐘ヲ持ルモ。其邑ノ田地ノ意ヲ寓セル所ナシ。法國有名ノ人某。ソノ友人某邑ノ田地ヲ買シト企ヌルモ。其邑ノ民ノ性質ヲ知ル。何レト夫レバ。其邑ヨリ來リテ。巴理ノ獸醫學院ニ生徒ト入ルモ。其邑ノ鐵道ハ上ニ向テ強ク打ハ。其爲ス。其邑ノ民ノ懦弱ナルヲ見ル。君ハトヒ本錢ハコハ邑ニ置トモ。恐レ彼公道ニ利錢ヲ償フ。トテ得ザルハシト云シトズ。誠ニカク。如ク深思アリテ物ヲ觀ル人ハ。小事ヲ他人ノ性質ヲ見出ス。ノミナラズ。マダ又ノ郷土ノ情狀ヲモ知ラナリ。蓋シ人民ハ土地ノ本ナレバ。人民各箇ニ勢力ヲ發出スル。邦國一體ノ勢力ヲ増シメ。ソ

ノ耕ストコロノ田ヲシテ。財貨ヲ生ゼシムルナリ。故ニ法國ノ諺ニ。土地ノ多少ハ。人民ノ多少ニ視フト云リ。

二 剛毅ノ心志

凡ソ人ノ事業ヲ成就スルニハ。剛毅ナル心志ノ力ヲ以テ基礎ト爲ス。心志ノ力。剛毅ナルモノハ。煩擾辛苦下賤ナルトテ厭ハスシテ。勉テコレヲ爲ガ故ニ。一生ノ間。次第ニ上進シテ。已ザルナリ。剛毅ノ心ハ。穎敏ノ才ニ比スレバ。ソノ人ヲ成就スル。多分ニ居ル。何トナレバ。穎敏ノ才アリト雖。心志剛ナラザレバ。或ハ失望ノ事生ジ來リ。或ハ危險ニ逢ヒ。コレガ爲ニ妨ラレベシ。心志ノ力。剛毅ナルモノハ。才氣足ラズト雖。中途失望ノ事ナクシテ。遂ニ成就ノ地位ニ到ルベキナリ。然トキハ。心志ハ。人ノ品行ハ。中心カ

ト稱スベシ一言ヲ以テ約スレバ心志ハカハ即ツハ人ノ
 人タル所以ナリ蓋シ心志ノ力ハ實ニ人ヲシテソノ精神
 ヲ運用セシメ肢體ヲ動作セシムルコトニシテマタ真正ノ
 希望ノ基址トナルコトナリ真正ノ希望ハ人ニ真正ノ芳香
 ヲ予ルモノナリバツルアツベシ寺觀ニ一ノ破タル古隘ヲ藏
 セリツノ上ニ標識ノ字アリテ希望ハ吾勢力ナリト書セ
 リ善カナコノ言實ニ人々ノ記號ニ用テ可ナルベシ
 ノ子曰ク怯心ハ人コト痛マシケレト誠ニ人ノ福分ハ剛
 毅ノ心ヲ有ルモノヨリ大ナルハナカルベシ人苟モツノ
 爲トコロノ事ヲ心カノアランカギリ十分ニ竭シタラン
 ニハ縦ヒツノ事失敗ストイヘズ吾良心ニ於テ遺憾ナカ
 ルベシサレバ卑賤ノ率戰場ニ臨ミ瘡痍身ニ滿ツレズ義

氣ヲ以テ勝利ヲ得ツハ足斬落サルハト雖ズハ剛勇ハ
 氣ヲ以テ猶ヨク歩行スルモハアリ豈最モ嘉スベキ事ナ
 ラズヤ

③ 人夙ニ事業ニ志ヲ立ツベシ

少年ノ人速ニ願欲ノ心ヲ事業ノ上ニ注ガザレバ肉慾徒
 ニ熾ニナリテ顔容瘦白ハ病ヲ生ズベシ且一タビ善キ事
 業ヲ爲ト志ヲ定タラバ喜躍シテコレヲ爲シテ盡頭極處
 ニ至ルベシ中途ニシテ誤テ邪蹊ニ入コトナカレ又人ノ事
 業ハ下賤ナル勞功トイヘズ欣然トシテコレニ耐ヘコレ
 ヲ樂ムベシ何ニトナレハ下賤ナル勞工ハ畢竟最善ノ教
 養ニシテ甚ダ身體ヲ健強ニスルハ益アルコトナリ亞禮
 法曰人ノ一生ハ特ニ心思ノ勞苦或ハ肢體ノ勞苦ニ由テ

Ary Scheffer

葉實ヲ結ブナリ。奮勉シテ又奮勉ス。カクノ如キモノハ
人生ナリ。予平生カクノ如ク踐_ツ行_フヘリ。天下ノ事吾ガ勇
氣ヲ傷ルモノナシ。蓋シ人々一箇強猛ノ精神ト一箇正
經ノ目的トヲ以テ何事モ成就シ得ラルベキナリ。

四 一時一事

休彌爾列爾曰ク世界ハ大學校ナリ。困苦ハ良師友ナリト。
實ニコノ言ノ如ク。少許ノ困苦ニ耐ヘズレテツノ志セシ
トコロノ事ヲ猶豫スルモノハ。即チ良師友ヲ厭棄シテ好
テ失敗ヲ取ルハ道ナリ。故ニ何等ノ課業ヲ論セス。始ハ避
逃_ル心ベカラザルモハト思テ務テコレヲ爲ベシ。然トキハ
幾何モナクシテ快樂ハ事トナリテ。自ラコレヲ好ムニ至
ルベキナリ。蓋シ勉強シテ心ヲ用ルコトハツノ始ハ難ケレ

凡次第ニ癡習トナリ。容易ニナルナリ。且人ヨク自ラ全副
ノ精神ヲ以テ一時ニ一事ヲ勉爲_スバツノ人。才性至鈍ナリ
トモ。一生ノ間ニ許多ノ事ヲ成シ得ベシ。コノ故ニ勃古斯
敦ハ尋常ノ方法ニ循ヒ非常ノ勤勉ヲ做ル人ニレテ。古書
ニ「汝何事ニテモ汝ハ手ニテ爲ベキコトヲ看出レタランニ
ハ。汝ハカヲ盡シテコレヲ爲ベシト云ル語ヲ實ニ行ヒレ
人ナリ。自ラツノ平生ノ功績ハ一時專ラ一事ニ心ヲ用タ
ルニ由テ得ラレタリト云レトゾ。

五 勇猛ノ工夫

真正ハ事業ハ勇猛ノ工夫ヲ用ルニ非レバ得ラルベカラ
ズ。ツノ勇猛ノ工夫ハ必スコレヲ成シ遂_グト欲スル堅定
ノ志ヨリシテ生スルコトナリ。故ニ人々傍觀ノ者ニ能シ

ガタカルベシト思ル、ホドノ難事ヲ能シ得テ、他人ヲ驚カスモノアリ。且又深く思ヒ入リテ、預メカクアルベシト料ル。ハ、後來實ニツノ料、如キノ事ニ遭フアリ。蓋シ人ノ志願ハ、事業成就ノ先驅ナリト知ルベシ。コレニ反シテ、怯懦ニシテ狐疑スル人ハ、何事ニテモ已ニ能シガタレト思フガ故ニ、一事モ能シ得ザルナリ。法國ニ嘗テ少年ノ官人アリ、常ニ已ノ室中ヲ行歩シナガラ、呼ハツテ、余ハ法蘭西ノマルレヤル元帥ナリトナリ。有名ノ大將トナルベシト云レガ、後果シテ卓犖タル將帥トナリ。法蘭西ノマルレヤルニ昇レトナリ。
六 心志ノ力。附マリスノ大將名書ヲ著ハセシ人ナリ。心志ノ力ヲ深く信ゼリ。嘗テ言ケルハ、予コレヲ善ク爲ベシト志ヲ定メ、

ル。ハ、必ず善ク爲テ得タリト。誠ニコノ言ノ如ク、心志ノ力ハ、身體ノ力ニ勝ル。甚ダ大ナリ。身體ノ力、全ク消滅シ盡ルマデハ、心志ノ力ニテ發奮勉強スル。ヲ能シ得ベシ。昔マリスノ大將マレイ。モラツク危馬ノ疾ニ罹リ、息マサニ絶ナントスル時、ソノ軍隊ト葡萄牙ノ間ニ戰鬪起レリ。勝負今決セントスル切要ノ時ニ臨ミ、マレイハ、俄ニ床ヨリ起キ上リ、退カントスル兵ヲ引進シ、敵陣ニ擊入り、勝利ヲ得タ。心後、忽チ氣盡テ、ソノ身ハ休レタリシトナリ。
七 志願スルトコロノモノハ、必ず得ベシ。志ストコロノ力、即、目的スルトコロノ力。願望スルトコロノ力ハ、人ヲシテ何事ニテモ爲ント欲スルトコロノモノヲ爲ス。テ得セシメ、ソノ至ント欲スルトコロニ達セシ

ムルモノナリ。一ノ神學者常ニ何事ニテモ汝ノ願欲スル
 トコロノモノハ汝コレヲ得ベシ。人ノ志願ノカハ上帝ニ
 通ジテツノ事成就セザルコトナシ。然レドモ汝マダ謙退ニシ
 テ驕傲ナラズ。忍耐ニシテ浮躁ナラズ。中庸ニシテ過甚ナ
 ラズ。寛弘ニシテ偏曲ナラザル人トナランコトヲ勉ムベシ。
 然ラレバ志願スルトコロ必シモ得ベカラズト曰リ。嘗テ
 一ノ木工アリ。一ノ憲臺ヨリ椅子ノ修復ヲ托セラレシガ
 コレヲ削リ平ニスルコト尋常ノ外ニ意ヲ用ケリ。或人怪テ
 コレヲ問ケレバ木工答テ予他日コノ椅子ニ坐スル時吾
 身ノ快適ナランコトヲ欲シ。善クコレヲ修復スルナリトイ
 ヒシガ不思議ニツノ言中リテコノ木工後ニ憲臺トナリ
 テツノ椅子ニ坐スルコトヲ得タリトイヘリ。

八 志意ハ自己ニテ主張スベキ事

人各々自ラ主意ヲ出シテ是非ヲ擇ビ。趨向ヲ定ムベシ。彼
 ノ川上ニ漾フ藁ノ方向偏ニ波ニ任スルガ如クナルベカ
 ラズ。必ズ水ニ溺グ者ハ自己ノ力ヲ出シテヨク波浪ヲ拍
 チ。吾意ノ向フトコロニ進ミ行ガ如クナルベシ。蓋シ人ノ
 志ヲ立テ行ヲ制スルハツノ自己ノ天良是非ノ心ニ從フ
 ベキコトナレバ他人ニ強逼羈束セラレバキノ理ナシ。試ニ
 思ヘ。一身ノ言行一家ノ規制。交際ノ次序。一國ノ政法。コレ
 皆何レ由テ完善ナルヲ得ルヤ。人々自己ニ主ト作リテ善
 惡ヲ擇ブニ由ルナリ。人生時々刻々ノ中ニ吾ガ心自己ニ
 主ト作ルモノナルベキヲ要ス。モレ吾ガ心自己ニ主トナ
 ルモノナケレバ。職任身ニ在リトモ。何ヲ以テ擔負セン。教

拉氏法國有名神學
者天明二年
生安政
元年歿

*Lamennais.

諭講説戒責等ノ事總テ益ナカルベシ律法モ無用ノ物タルベシ且風俗慣習紛華聲利ハ吾輩ヲ役使スル主人ニアラス吾輩コソハユレ等ヲ降伏シ使令スルハ主人ナリサレバ或ハ外物ニ誘惑セラルトモ天良ノ心暗ニ我ニ告テ自ラ抵抗禁止ヒザレバ安カラザルヲ覺ヘシムルナリ吾輩苟モ外誘ヲ降伏セント欲セバ剛猛ノ志意ヲ以テコレニ勝ザルベカラズ

九 拉面奈ノ書

拉面奈カツテ一ノ少年ニ書ヲ寄テ曰足下既ニ自己ノ志意ヲ以テ定斷スベキ年齒ニオヨベリモレ少レモ因循セバ足下自ラ掘レル墓中ニ呻吟シソノ石ヲ轉倒スルノ力ナカルベシ蓋シ人ヲシテ容易ニ慣習トナラシムルモノ

*Fouel Buxton.

志意ニ若ハナシ然バ足下毅然トシテ志ヲ立ルコトヲ學ブベシカクノ如クセバ足下汎々浮々ノ生涯庶クハ定リテ再マタ枯葉ノ風ニ吹レ此ニ飛ビ彼ニ轉ズルガ如クナラザルベシト云ヘリ

十 勃古斯敦子ヲ戒ムル書

勃古斯敦ノ説ニ凡ノ少年モレ能ク堅ク志意ヲ生ジコレヲ操持シタラニハ何ナリトモソノ好トコロニ從ヒテ云リ嘗テソノ子ニ書ヲ與テ曰ク汝今右方ニモ左方ニモ轉スベキ一生ノ時限ナリ故ニ汝今心志ヲ決定シ勢カヲ奮起セザルベカラズ然ザレバ汝必ズ懶惰昏弱ニシテ心思定マラザル少年トナリヌベシ汝モレ一旦コトニ沈没セバ再ビ興起スルコト決シテ容易ナラス予深ク少

年ハ凡ソノ好トコロニ從ベキヲ信ゼリ。蓋シ予ガ生平ノ
 福運ハ少年ノ時轉變ヲ爲タルヨリレテ生ジ來ルナリ。汝
 モシ實心ニ勇猛勉強セント志ヲ立テバ。汝終身ノ基コレ
 ヲリシテ立チ必ズ汝ノ事業ヲ成就スルニ至ルベシ。◎心
 志ハ方向アラザルトキ如何ナルモノト察スルニ特ニ恒
 久堅固剛毅ナルモノニ故ニツレテ善事ニ向テ發
 程セシメント要ス。蓋シ肉體ノ欲ヲ受用スル方ニ向ト
 キハ心志ハ即チ惡鬼ニシテ才智ハ惡鬼ノ賤隸タルベシ。
 義理ノ正ニ向トキハ心志ハ即チ君主ニシテ才智ハソノ
 福祥ヲ增益スル宰臣トナルナリ。
 ◎心志アレバ必ズ便宜アリ。◎古語ハ確實ナル語ナリ。

† Richelieu * Suwarrow.

人苟モ一事業ヲ爲シト志ヲ立レバ。即チソノ志實ニ道路ノ
 障塞ヲ登リ越テ功勳ヲ贏得スルコトナリ。又我ハコノ事ヲ
 做得ベシト思フ事ハ大抵果シテ做得ルモノナリ。又凡ソ
 コレヲ得シト志ストコロノモノハ大抵自ラソノ得ラル
 ルモノナリ。是故ニ懇切ニ志ヲ定ルハ絶大ノ権力ニシ
 テコレアレバ何ナル事ニテモ能スベカラザルモノナシ。
 俄羅斯有名ノ大將士話妻ノ武勇絶倫ナルコトハソノ心志
 ノ力剛毅ナルニ由レリ。士話妻マタ利式流拿波崙ノ如ク
 イムボツレザル能ハスト云フ字ヲ字書ヨリ除キ去ント欲セ
 リ。ソノ他我ハ知ラズ我ハ能ハスト云フ語ヲ甚ダ嫌ヒ惡ノ
 リ。學習ス爲ス試ルコト三字ヲ常ニ口ニ稱セリト言傳ヘ
 タリ。

*napoleon.

拿破崙ノ好ル格言ノ其一ハ真正ノ才智ハ剛毅ノ志向ナ
リト云ルモノナリソノ平生ノ爲トコロヲ觀ルトキハ勢
カアリテ疑惑ナキ心志ヲ以テ功業ヲ成就セシメテ知レ
レソノ軍ヲ行ル時ソノ道路ニ亞耳伯士ノ大山アリト云
ルモノアリシカバ拿破崙豈ニ我ヲ妨グル亞耳伯士アラ
シヤト答ヘラレ新道ヲ闢テ軍旅ヲ通ゼラルコレ昔ヨリ
人ノ登リ得ザル地ナリト云フ拿破崙マタ不能ト云フ字
ハ愚人ノ字書ニ見ユルノミト言レタリ拿破崙ハ甚レキ
勞苦ヲ厭ス一時ニ四人ノ書記官ヲ用ラルニ皆困憊委
頓セリソノ他人ノカヲ惜ズ亦自己ノカヲ惜ザルカク
ノ如レソノ感化ニヨリテ旁人新ニ精神ヲ發生ス故ニ嘗

*Wellington.

テ予泥土ヨリ吾ガ大將ヲ作り出セリトイハレタリ然リ
ト雖モ拿破崙自私ニスルノ心アルヲ以テソノ身ヲ敗リ
又法國ヲ敗セリソノ成敗ノ跡ヲ觀ルトキハ仁愛ナキハ
勢カハ邦國ノ衰運ヲ促シ德行ナキハ智識ハ邦國ノ禍基
ヲ崇スルヲ知ルベキナリ
三 空林登職分ノ字ヲ常ニ心ニ存スル事
英國ノ空林登ハ拿破崙ニ比スレバ遙ニ愈ル大人ナリ獨
リ剛毅堅實忍耐ナルノミニアラス私欲ヲ除キ去リ良心
ニ從テ事ヲ行ヒ真實ニ國人ヲ愛セリ拿破崙ノ志ストコ
ロハ「グロレー」榮名ニ在テ空林登ハ「納爾森」同ジクテ
予テ「職分」ノ字ヲ以テ護身符トセリ空林登生平書翰
中ニ榮名ノ字ハ一モ見スレテ職分ノ字ハ屢々見ユ然ト

モ誇大ノ言語ヲ以テコレヲ道出セルモハハ一モアラズ
極大艱難ノ事ニ逢ト雖氏泰然トシテコレニ當リ更ニ躊躇
踏狼狽スルコトナレベシレユラルノ役空林登困苦佛逆ノ事
ヲ受タルコト大方ナラズ他人ナラバ或ハ怒テツノ任ヲ去
リ或ハ狂病ヲモ發シヌベキニ空林登久クコレニ耐細心
熟慮シテ難事ヲ處置シテ大功ヲ成就シタルハ獨リ大將
才畧ヲ顯スルニナラズ相臣ノ度量ヲ具タルヲ見ルニ足
リ空林登怒リ易キ血性ノ人ナリレガ善クツノ職分ヲ盡
ント欲スルノ志篤ガ故ニツノ怒ヲ懲シテ遂ニ非常ノ忍
耐ノ力ヲ生ゼリ且ツソノ尤モ稱スベキハ一毫モ矜高自大
ノ心ナク貪吝ノ念ナク下劣ノ嗜慾ナカリシナリ蓋シ大
將トナリテハツノ勇決神速拿波崙ノ如ク古雷武ノ如ク

相臣トナリテハソノ智慮アルル格朗空ノ如クソノ純粹
誠實ニシテ高尚ナルトハ話聖東ニ似タリ洵ニカクノ如
ク一人ニシテ種々ノ才徳ヲ具タルハ間世ノ豪傑ト稱フ
ベシ

④ 果決神速ノ貴ベキ事

邁往ノ志アル人多クハ果決神速ニ事ヲ作ナリ故ニ列徳
壓徳ハ彌利堅有名ノ四方ニ旅行スル人ナリレガ亞弗利
加會社ニテ何ノ日マデニ旅裝備辦シテ亞弗利加ニ起程
シモフヤト問ケレバ直ニ答テ明朝ト言ケリ普魯社ノ大
將伯魯加爾ハソノ快捷ナルヲ以テ三軍ヨリマルシクイワド
勇往速進ノ綽號ヲ得タリ戎熱爾非斯後ニ仙閣仙都ノ丟
克ニ問モノアリテ準備具ハリ何ノ日ニ船ニ下リ玉フヤ

トイヘバ。即刻ト答シトナリ。格林甘伯白爾印度ニ向フ軍
中ノ總督ニ任ゼラレシ時何ノ日ニ發程スルコトヲ得ラル
、ヤト問ハレケレバ。明朝ト答フ。嗚呼ソノ奮烈勇往ノ志
氣アルコト。カクノ如シ。ソノ功名ヲ成シタルコト。豈ニ怪ムニ
足ンヤ。

⑤ 拿波崙瞬息ノ機ヲ窺ヒ敗ヲ轉ジテ功ト爲シ事
兵ヲ用フルノ道ニ於テ。敵人ノ間ニ乘ジ。虚ヲ擣フ。亦神速ヲ
貴ブ。拿波崙仙希列納ニ流サル、後人ニ語テ曰ク。予昔シ
アルコトノ役ニ。僅ニ二十五騎ヲ率テ。大軍ノ敵ヲ敗リ。ア
リ。抑モコノ日ハ。三日大戦ノ後ナレバ。戦ノ最中ニ。敵モ我軍
モ。忽チ困倦ノ色ヲ顯ス。予コノコソ。勝負ノ轉機ナレ。コノ
時ヲ失フベカラズトテ。急ニ二十五人ニ命シ。人ゴトニ喇

Warren Hastings

吹ヲ持シメ。敵ノ翼ヲ衝撃セシカバ。敵軍大ニ敗走セリ。蓋
シ。両軍相戦トキハ。互ニ敵ヲ驚惶セシメ。ンコトヲ務ナリ。故
ニ我軍ニテ。忽然驚惶スルコトハ。起リナバ。敵ニ敗ラルベキ
時ト知ベシ。然バコノ驚惶スル瞬息ノ時コソ。忽ニセザル
ベケレ。コノ時ヲ謹ミ用ヒ。敗ヲ轉ジテ功ト爲ベシ。又曰ク。
敗レタル轉瞬ノ間隙ゴトニ。勝ベキ轉瞬ノ機會アリ。歐塞
特里人ハ。時ノ價值ヲ知ラズ。故ニ彼ノ踟躕スル間ニ。予コレ
ヲ撃チ敗レテ得タリシナリ。

⑥ 哈斯丁士七歳ノ時田産ヲ恢復セント志セシ事
印度ハ。百餘年コノカタ。英國ノ人。勢力ヲ顯ストコロノ地
トナレリ。古雷武ヨリ。哈武洛克。古雷德ニ至マデ。印度ニ於
テ。或ハ政事ヲ以テ。或ハ武功ヲ以テ。大名ヲ得タルモノ。後

先相續ク空勒斯力墨的加夫烏的蘭義的瓦埤士老連設士
 ノ如キモノ。是ナリ。ソノ他瑕瑜相掩スト雖也。卓越ノ名ヲ
 得タルモノヲ瓦命哈斯丁士ト云フ。ソノ家ハ元來デイレスホト
 ノ鉅族ナリシガ。次第ニ衰ヘ。瓦命哈氏ハタケノ時ニ至テ。ソノ父
 ハ貧キ農民ナリシナリ。哈氏七歳ノ時。偶夏日ニ當リ。祖先
 ノ時。領スル地ヲ過テ流ル。川堤ニ坐シケルガ。コノ時ソ
 ノ心ニ。何ニモシテ。コノ田産ヲ恢復セバヤト志念ヲ生ゼ
 シト言傳フ。哈氏長ズルニ及ンテ。舉止安静。心思剛毅。果シ
 テヨクソノ故世ノ田ヲ買ヒ。屋宅ヲ建テ。幼時ノ一念ヲ成
 就セリ。馬高禮曰ク。哈氏印度ノ熱地ニ在リ。政ヲ爲シ。兵ヲ
 治メ。五千萬人ヲ統理スルノ時ニ當テ。ソノ望ハハデイレスホト
 ニ指サセリ。而ノ哈氏久ク官ニ在テ。善惡榮辱駁雜スル生

* Sir C. Napier.

涯ヲ歴タル後。退休シテ歳ヲ卒タルトコロハ。マタハデイレス
 ホドナリ。
 (十七) 那比爾印度ニ於テ奇勲ヲ策スル事
 * 查爾斯那比爾。マタ勇氣世ヲ蓋ヒ。堅忍不拔ノ志アル人ナ
 リ。嘗テ兵間ニ在テ。艱難ノ事ニ圍繞セラル。トアリシ時。
 那比爾曰ク。コノ難事何ゾ我ニ害アラニヤ。特ニ吾足ヲシテ。
 盆地中ニ深ク挿ミ入シムルノミト云ケリ。一千八百四十
 三年天保四年。墨亞屈ノ戰ニ。二千人ヲ以テ。皮路直坦三萬五
 千ノ兵ヲ破リ。ソノ中歐羅巴人ハ。僅ニ四百人ノミ。此時カ
 クノ如キ衆寡敵セザル大兵ニ向ハ。冒昧ノ舉ニ似タリ。然
 ニ那比爾豫メ。必ス勝ベキヲ信ジ。并ニソノ衆ヲシテ。ユレ
 フ。信ゼシメ。サテ敵壘ヲ踰テ。ソノ中央ヲ衝擊シ。三時ノ間

死ヲ極テ戰フ皮路直坦ハ英兵ニ二十倍セシガソノ勢ニ
 敵シガタク對面シナガラニ背ニ退ケリ蓋シ戰ハ剛勇忍
 耐ニ非レバ勝ベカラズ人ハ頭項愈敵ニ近ケバ愈勇ヲ顯
 シ利ヲ獲ベシ兵ヲ進ル一一度キテモ敵ヨリ多ケレバ
 ソノ戰ニ勝ベシ忍耐シテ退ザル一五ミトノ間敵ヨリ
 久ケレバ全捷ヲ收ベシサレバ斯巴爾丹ノ軍事ニ明ナル
 人ソノ子劍ノ短ヲ歎シケレバコレニ答テ汝ノ一步ヲ加
 テコレヲ長セヨト云ケリ

①六 那比爾三軍ニ信服セラレシ事

那比爾ハソノ統帥スル三軍ノ士卒ヲシテ己ノ如ク英雄
 ノ氣象アラシムル正道ヲ知リ即チ士卒ト勞苦ヲ同セシ
 ナリ故ニソノ言ニ人ヲ統帥スルノ大道ハ公平ニ自ラ勞

苦ヲ分チ取ニ在リ戰勝ヲ得ント欲セバ大將タルモノ全
 副ノ心カヲ戰鬪ニ用ベシ困難愈甚ケレバ愈多ク勞苦ヲ
 爲ベク危險愈甚ケレバ愈多ク勇氣ヲ顯スベシカクノ如
 クニシテ困難危險ヲ壓服スベシト云リ皮路直坦カッチー
 ヒルスノ役ニ一ノ年少ノ武官那比爾ニ從ヒモノ曰ケルハ
 予彼老人ノ馬上ニ在テ暫モ休ザルヲ見ルトキハ予ノ如
 キ少年強壯ナルモノ何ニシテ懶惰ナルベケンヤ彼人ノ
 命令ナラバ裝藥セル炮口ノ中ニナリトモ進ベシト或人
 コレヲ以テ那比爾ニ語ケレバ那比爾ソレコソ真ニ吾勞
 苦ニタル満足ノ報賞ナレト言ヒシトナリ

①七 那比爾印度ノチヨグライヲ試ル事

那比爾印度ノチヨグライヲ試ル事
 戲法ヲ弄テ試シテ話説ソノ生平膽勇

アリテ、性行純實ナル一斑ヲ見ルニ足リ。印度ノ戰終リケル後、一ノ有名ナルチヨグラー英兵ノ軍營ニ至リ、大將并ニソノ家眷諸軍官ノ前ニ於テ、ソノ技ヲ奏シケルカ、種々ノ戲法ヲ爲ル中ニ、コノチヨグラー一箇ノ橙ヲ從者ノ手中ニ置キ、劍ヲ揮ヒ、切テ二トナセリ。那比爾、オモフニ、コレ必ズ二人竊ニ言合セテ、人目ヲ迷スナルベシ。何ニトナレバ、劍ヲ以テ、手中ノ一小物ヲ切り、ソノ手ヲ傷ルコトナキハ、能スベカラザルコトナリ。斯格的ノ小説ニ、コレニ類スルコトアレバ、信シ難シト。因テ、コノ疑ヲ決センガ爲ニ、大將、ソノ右ノ手ヲ伸レ、コノ上ニテ、汝ノ伎ヲ試ヨト曰ケレバ、チヨグラー暫ソノ手ヲ熟視シ、ソレハ免玉ヘトイフ。那比爾果シテ然リ、予モ汝ニハ能セラルマジト思リ、トイヘバ、チヨグラー「カラバ、左

手ヲ示シ玉ヘトコレヲ視テ後、容ヲ斂メテ、左手ナラバ試マウサニ、君堅ク腕ヲ持シテ、動カレ玉ハザレトイフ。何故ニ、左手ヲ許シテ、右手ヲ否ミシヤト問シニ、君ノ右手ハ、中央凹ニ深シ、指ヲ切ラシノ懼アリ、左手ハ、中央高シ、危ベキト少シト云ヘリ。那比爾後コノ事ヲ人ニ語リテ曰ク、予コノ時、チヨグラーニカク言レシ時、驚駭シテ、サテハ真ニ劍ヲ揮ヒカ、ル精細ナルコトヲ爲ナリト。吾ガ疑ハ解ニケリ。然ドモ、予既ニ衆人ノ前ニ於テ、彼ヲ挑テ對手ト爲ダレバ、予ヨリ引キ退ベキヤツナシ。因テ、橙子ヲ手上ニ置キ、吾腕ヲ固ク伸セバ、チヨグラーソノ身ヲ整ヘ、劍ヲ閃カスカト見ヘシガ、忽チ橙子ハ兩段トナレリ。コノ時、劍鋒ハ手上ヲ過ルコト冷ナル糸ハ如キヲ覺エタリ。那比爾コレニ繼テ曰ク、宋亞臣

ニ於テ、印度ノ勇敢ニシテ、劔ヲ善スル。許多ノ士卒ヲ我軍
衆ニテ打敗タルハ、美ジカリシ事ナリ。

② 印度叛亂ノ事并ニ英人節ニ死スル事

一千八百五十七年、安政五月、榜葛喇ノ土兵將吏ニ叛キ、
兒希ニ向テ推シ進ム。處々英人ノ住スル處、ミナ叛兵ニ圍
マレ、ソノ助ヲ呼ブ聲、東省ヨリ西部ニ連リ、ソノ騷擾オホ
カタナラス。コレゾ印度ノ英領滅亡ノ時至リ、英人ヒトシ
ク災禍ヲ受ルナラント思、ホドナリシ。拉克腦ニテ英國文
武ノ官員并ニソノ婦女、印度ノ叛民ニ數月ノ間、攻圍レシ
ガ、失望セル一語ヲ言、出スモノナク、降伏セント欲スルモ
ノナシ。朋友ヨリノ文書モ遮レヌレバ、印度ノ失シヤ保
ルヤト云、トモ知ラレヌ。然、厄吾ガ邦人ノ忠厚剛勇ヲ堅ク

信ジ、タトヒ一時災厄ヲ被ムルトモ、終ニハ邦人ノ勝利ヲ
收ル。疑ナシ。我輩職分ヲ盡シテ、同ジクコ、ニ死スベシ
トテ、勇氣ヲ奮ヒ、叛民ト力戦ス。カクノ如キ情形、ヒトリ、
克腦ノミニアラス。各所英人ノ住スル所、ミナ然リ。各所英
人ハ心、ミナ同シ。コノ時、勇將ハ、ウロク、インギリス、子イル、
ウートラム等、ミナ戦死シテ、英國ヲ光榮ス。然、ニ死生ノ際ニ臨
デ、ソノ
操守ヲ失ハザルモノハ、獨リ將領ノミナラス。軍吏、歩卒、平
民、婦人ニ至ルマデ、均シク皆節義ヲ顯ハセリ。抑モコノ節
ニ死シタル英人、別ニ選拔セラレタルモノニモ非ズ。彼ミ
ナ通常ノ人民ニシテ、本國ノ街衢、店舗、田野、會所ニ於テ、日
々相逢トコロノモノニ過ズ。然、一旦變故起リ、禍害ヲ被
ルニ及ンデ、皆各、自己ノ體面ヲ存シ、職分ヲ盡シ、勢カヲ

出シテ、英雄ト爲ルコト、豈ニ尊クベキ事ナラズヤ。門答連白
 コノ死節ノ人民ヲ賛シテ曰ク、コノ時英人貴賤長幼男女
 ヲ論ゼズ、一人モ畏縮戰慄スルモノナク、盡ク叛民ニ抵抗
 シ、コレト鬪戦シテ、潔ク死シタリ、コレヲ以テ人民一般ハ
 教育、真ニ極大ハ利益トナルコトヲ知レ、何ニトナレハ、教
 育ヲ受ルニ由テ、英人少年ヨリ、自己ハカノ用、ベク、自主ハ
 權ハ保ベキヲ知ル、コノ故ニ、何物ニモ懼レズ、何事ニモ驚
 カス、同類ノ人ト、心志ヲ合セ、醜類逆黨ニ抗拒シ、泰然トシ
 テ患難ノ際ニ處ルコトヲ得タルナリ、埗兒希ニ於テ、印度ノ
 叛兵、英人ノ軍營ヲ攻ルコト三十度ナリシガ、英人ノ奮闘ニ
 由テ、三十度逐ヒ退ラル、英兵三千五百人ニ過ミ、テ、賊軍
 ハ七萬五千人に及ベリ、英人或ハ死シ、或ハ傷痍ヲ蒙ムリ、

或ハ瘡疾ヲ受ト雖、勇氣撓マズレテ防戦セシカバ、後、再
 ビ、英國ノ旗章、埗兒希ノ牆上ニ飄レリ、コノ時戰場ニ在テ、
 剛勇ヲ顯ハシタル中ノ一人、加比丹、合德、遼曰ク、予、心中ノ
 實ヲ語レバ、地球上、他國ノ人、モシカクノ如キ急難大厄ニ
 逢ハバ、立住マルコトヲ得ザルベク、又敗北ヲ免レザルベシ
 ト思フナリト云リ
 此時尋常ノ歩卒、平生艱難ニ慣レ、モノモ、少年ノ官吏、元來
 安逸ニ長ズルモノモ、均シク皆丈夫ノ氣象ヲ顯ハシ、均シ
 ク皆廉耻ノ道ヲ失ハザリキ、英國ノ人、精神強壯ナルト、教
 養ノ完全ナルト、コノ二者ノ明效、イマダ此時ヨリ著シキ
 モノアラズ、要シテコレヲ言ヘバ、英國ノ人ハ、英國産物中
 ハ、最モ美ナルモノハナリ、英史ノ中、コノ印度ノ一卷ハ、怕ル

*Francis Xavier.

ベキ高價ヲ以テ購ヒ得タリ。然レモコノ亂後生存スル人
及ビ後人ノ爲ニ善教トナリ模範トナルコノ利益甚ダ大
ナレバコレヲ以テツノ損費ヲ償フニ足レバシ。

⑤ 雜未耶東洋ニ航スル事

西方諸邦ノ人印度及ヒ東洋ニ於テ剛毅勇敢ノ志行ヲ顯
ハス。獨リ戰鬥ノニ非ス。吉祥善事ニ於テ亦然リ。故ニ
三軍ノ豪傑國ノ爲ニ生ヲ輕ズルコトヨリ記憶ヒザルベ
カラズ。上帝道ノ豪傑身ヲ以テ道ニ殉フコト尤モ忽畧ニス
ベカラズ。雜未耶ヨリ馬丁維廉斯ニ至ルマデ相繼ギ勞苦
シテ道ヲ弘ムル人盡ク皆塵世ノ欲ヲ離レ己ノ生命ヲ失フ
ヲ憚ズ。特ニ人類ノ永死ニ入ルモノヲ覓メコレヲ救ント欲
スルノニシテ更ニ他ノ願望ナキコトナリコレ等ノ人當

ルベカラザルノ勇志屈スベカラザルノ耐性ヲ以テ飢寒
ヲ忍ビ危險ヲ冒シ疫癘ノ中ニ行步シ困憊ヲ辭セス。疾病
ヲ厭ズ。或ハ傳道ノ爲ニ殺戮セラルト雖モ反テ更ニ歡喜
シコレヲ以テ光榮トナセリ。ソレガ中ニ最モ始先ニシテ
最モ有名ナルハ弗蘭西士。雜未耶ナリ。雜未耶ハ貴爵ノ族
ニ生レタル人ナレバモシ其ヲシテ世間ノ歡樂ヲ縱ニシ
テ塵世ノ權勢ヲ得ントテ欲セシメバコレヲ致スト難カ
ラザルベシ。然レモ雜未耶ハ卿相公侯ヨリ高ク金玉田産
ヨリ貴モハニ志セルガ故ニ彼ヲ舍テ是ヲ取タリ。雜未耶
心術端正容止温雅志氣勇剛度量寛弘容易ニ人ニ導ル
ト雖モ人ヲ導クノオアリ容易ニ人ニ勸ラルト雖モ人
ヲ勸ルノ學アリ亦剛毅ハ丈夫亦温厚ハ君子ナリ。年二十

二ノ時巴理ノ大學院ニ於テ、スイロソフィー
 八時雷閣ヲ交リ、互ニ相驩愛セシトナリ。
 葡萄牙ノ王約翰第三、印度ノ領地ニ神道ヲ施シ、
 拔地拉ト曰ルモノヲ擇ビシガ、病ニ罹リ、往、
 襍未耶ヲ以テコレニ代タリ。襍未耶、
 ニカス本ニ赴キ、ソレヨリ東洋ニ向テ發程ス、
 ロノ船ハ、俄亞ノ總督、兵士一千人ヲ載テ、
 トスルモノナリ。襍未耶ハ、船房ヲ受タレドモ、
 ス、海程ヲ歷ル間、甲板上ニ睡リ、繩ヲ以テ枕トナシ、
 飲食ヲ與ニシ、病者アレバコレヲ看護シ、
 ニ要須ノ事アレバ、勞役ヲ執リ、又コレガ爲ニ、
 戲ヲ作り、消遣ノ具トナサレム。コレニ由テ、
 船中ノ人ニ甚

ダ尊敬ヒラレタリ。
 雜未耶既ニ俄亞ニ着シ、
 ニ本地ノ人、盡ク弊惡ノ俗ヲ爲タルヲ見テ、
 蓋シ、歐洲ノ人、禮義ノ化ニ遠カリ、壞惡ノ事ヲ爲スニヨリ、
 土人コレニ效ヒ、遂ニコレニ至ルナリ。襍未耶手鐘ヲ鳴シ、
 街衢ヲ過ギ、懇ニ人民ニ乞ヒ、ソノ兒子ヲシテ來リ學バシ
 メシガ、幾何モナク、許多ノ書生ヲ集メ、毎日懇勸ニコレヲ
 教育ス、ソノ間ニハ、病人ヲ存問シ、癩者ヲ看候シ、窮苦臭穢
 ノ徒ト、欸洽ス、蓋シ、コレノ輩ノ愁痛ヲ慰撫シテ、コレヲ真理
 ニ導カント欲セリ。故ニ啼哭ノ聲、耳ニ至バ、決シテ、コレヲ
 放過スルコトナシ。馬拿爾ノ珠ヲ撈ル者ノ慘ハシキヲ聞
 テ、コレニ赴キ、慈悲ノ鐸音ヲ振ヒ、貧病ノ民ニ給事セリ。

* John Williams.

雜未耶哥摩林ノ海濱ニ沿ヒ。城市村落ヲ過ギ。土人ヲ聚メ
 テ。コレヲ教ヘ。又ソノ方言ヲ以テ。教書ヲ譯シ。兒童ヲシテ
 暗誦セシメ。往テソノ父母隣近ニ傳ヘシム。門弟ノ中ヨリ。
 三十人ヲ選テ。教師トナシ。三十所ノ寺觀ヲ掌管セシメ。夕
 リ。コレヨリトラバンコーアニ至リ。此郷ヨリ彼郷ニ移リ。兩手疲
 テ。舉テザルニ至ルマデ。毎日洗禮ヲ施シ。聲音枯テ聞ザル
 ニ至ルマデ。日ニ講談ヲ務メ。雜未耶自ラ曰ク。教化ノ博
 ク及シ。予ノ志望セシニ踰タリト。蓋シソノ言行純誠懇
 切ニシテ。間然スルモノナキニ由テ。足跡ノ至ルトコロ自
 ラ能人ヲシテ。コレニ感化歸向セシメタルナリ。
 雜未耶收穫ノ穀ハ多クシテ。農人ハ少シ。人民ノ教化ニ從
 教ヲ施コフ意ナリト。言ルコトヲ實ニ證知シタレバ。ワレヨ
 少シトイフ意ナリト。實ニ證知シタレバ。ワレヨ

リ。麻拉加日本ニ至ル。雜未耶曰。何ナル痛苦ノ刑慘毒ノ死。吾
 ニ臨ムト雖。予甘心シテコレヲ受ベシ。一箇ノ靈魂ヲ救
 ヒ得ルタメニハ。一萬度ノ痛苦ヲ受ルトモ。吾甘心スルト
 コロナリト。七年ノ間。勉勞セシ後。支那ニ向テ發程セシガ。
 サニチアン嶋ニ於テ瘡疾ヲ得テ。没セリ。時ニ一千五百五十二
 年。天文二年。享年四十有七ナリシト云フ。
 (主) 戎。雜未耶士南海ニ航スル事
 雜未耶ニ繼テ。遠方ニ行旅スルモノ、中ニソノ最モ顯々
 ルモノハ。印度ニ於テ。士克華都。加禮。及ビ馬始面。支那ニ於
 テ。華則。拉弗。及ビ馬禮遜。南海ニ於テ。維廉士。亞弗利。加ニ於
 テ。甘伯。白爾。莫發的。及ビ律賓。士敦。如キモノナリ。戎。雜未
 士ハ。始メ鐵器ヲ賣モノ、家ニ徒弟トナル。遲鈍ナル童子

ナリシガ次第ニ打鐵ノ事ニ巧ナルヲ得テソノ師ヨリ
 要重ノ器ヲ製スルヲ托セラレタリ一日偶說法ヲ聞タ
 リシガソノ心偏ニコレヲ好ミ遂ニ貧學院ノ師トナリ安
 息日ニ往テ童子ヲ教フ嘗テ朋友集會セル時傳道使ノ起
 源ノ事ヲ聞キコレヨリ自ラコノ職ニカヲ竭ント志レ倫
 敦ミソレヨナリー會所ニ言立テレバ忽ソノ請ヲ聽サル此時
 賣鐵家徒弟ノ年期未ダ滿サリシガ其師マタコレヲ許シ
 ソノ工舖ヲ去ラシメタリソレヨリ太平海ノ諸嶋ニ往キ
 道ヲ弘メホトシクタイレイアテイニ在テ尤功勞ヲ積ム維廉士獨
 リ真理ヲ講說セルノミナラズ自ラ手足ヲ勞シテ打鐵工
 ヲ爲シ園圃ヲ作り舟楫ヲ造リソノ他文明諸邦ノ諸藝術
 ヲ以テ嶋人ニ教シガ一日エルロマンカノ海濱ニ於テ蠻民ニ

殺サレタリ

律賓斯敦亞弗利加ニ至ル事

律賓斯敦ハ蘇葛蘭ノ人ナリ家貧シカリシ故少時額拉斯
 哥ニ近キ製棉工場ニ往キ工事ヲ作り始テ得タル工錢ヲ
 以テ拉丁文法書ヲ買ヒ夜中ニコレヲ學ブ又小説ヲ除ノ
 外博ク群書ヲ究メ紡機ノ上ニ書ヲ置キコレヲ讀ニ至ル
 カクノ如ク勉勵シテ有用ノ學問ヲ多ク胸中ニ積ミ貯ヘ
 又醫學會所ニ往キ刀圭ヲ學ビ又或ハ上帝道ノ講義ヲ聽
 クカクノ如キノ費用ハ全ク自己ハ工場ニ在テ贏テ得ル
 モハニ由テコレヲ支ヘ他人ヨリハ一錢ノ助ヲ受ズ律
 氏後ソノ實ヲ叙テ今余自ラ往昔ヲ顧ルニ勞苦ノ工業ヲ
 作シハ天幸ニシテ吾教養ノ實益ナリシトヲ覺ユモシ今

モ猶爲得ベキアラバ再ビ昔日ノ生涯ヲ始メ賤工ヲ執
 リ。勞苦ニ慣シテ欲スト云リ。既ニシテ醫科ノ業ヲ卒ヘ
 ケレバ。拉テ語ニテ。ソノ説ヲ書シ。コレヲ考試官ニ出シタ
 レバ。内外科醫トナルベキ免許ヲ得タリ。
 律氏始メ自己ノ費用ニ由テ支那ニ往クニ欲セシガ。コノ
 時英國支那ノ間ニ戦争起リ。コレガタメニ障礙セラル。
 故。倫敦ニシテヨナリト會社ニ至リ。傳道ノ職ヲ作リ。言ケレ
 バ。會社ニテ律氏ヲシテ亞弗利加ニ往シム。一千八百四十
 年。天保十。コノ地ニ達ス。律氏曰ク。我年來全ク自己ノ力ニ
 倚テ。他人ニ仰賴セザリシ故。今會社ニ支給セラル。我
 ニ於テ心痛ニ堪ヌトサレバ。特リ他人ノ管轄下ニ在テ職
 務ヲ爲ス。コノ以テ足リトセズシテ。不羈獨立ハ功勞ヲ作

リ出セリ。傳道ノ暇ニハ。自ら水道ヲ掘リ。家屋ヲ建テ。田地
 ヲ耕シ。牛羊ヲ牧シ。土人ニ職業ヲ教ヘタリ。
 律氏始メ發程セシ時。同行數人ト相伴テ。步行シタルガ。同行
 ノ人。竊ニ相評シテ。彼甚ダ瘦タリ。特ニ袴ヲ着ルヲ以テ強
 ク見ユルノミ。彼容易ニ人ニ打倒サルベシト云フ。律氏ヨ
 レヲ聞テ大ニ激怒シ。毎日カヲ極テ速ニ行キ。同行ノ者ヲ
 シテ。ソノ健歩ニ驚シメシトナリ。
 律氏亞弗利加ニ在テ。爲ストコロノ功勞ハ。ソノ著ハセル
 ミツシヨナリトラヘルニ詳ニ見ユ。コノ書ハ旅行日記ノ類ニテ。
 甚ダ人ヲ喜樂セシムルモノトナリ。律氏ノ人ト爲リ。次
 ニ録スル一事ニテモ。ソノ志概ヲ見ルベシ。始メ亞弗利加
 ニ乘リ往シ。蒸氣船用カタクナリシカバ。ソノ家ニ書ヲ送

* John Howard.

リ。二千金ノ費ニテ。新ニ一艘ヲ造ル。命ゼリ。抑モユル金
ハソノ著書ヨリ得タル利銀ニシテ。ソノ兒子ノ爲ニシテ
別ニ除置ルモノナリ。ソノ書中ニ。兒子。各々。自。己。ノ。力
ニ。テ。金。銀。ヲ。得。ベ。キ。ヲ。要。ス。ト。言。フ。ト。云。フ。日。時。ノ。難。ニ
我。厚。亞。德。ノ。行。實。ヲ。觀。ル。ト。キ。ハ。心。志。堅。忍。ナ。レ。バ。タ。ト。ト。身
體。虛。弱。ナ。リ。ト。モ。難。事。ノ。山。嶽。ノ。如。キ。モ。イ。テ。移。ス。ベ。キ。ヲ。知
ニ。足。リ。原。亞。德。ノ。時。ニ。及。マ。デ。牢。獄。ノ。制。善。ヲ。不。シ。テ。罪。人。徒
ニ。苦。ヲ。受。ケ。死。ニ。至。ル。モ。ノ。多。カ。リ。タ。レ。バ。厚。亞。德。コ。ノ。弊。事
ヲ。除。キ。人。命。ヲ。助。ク。シ。テ。欲。シ。勞。苦。ヲ。避。ク。危。難。ヲ。顧。ミ。ズ。疾。痛
ノ。身。ニ。ア。ル。ヲ。忌。シ。生。平。ノ。力。ヲ。竭。シ。テ。コレ。ニ。従。事。セ。リ。厚
亞。德。中。等。ノ。資。質。ニ。シ。テ。才。氣。常。人。ニ。踰。エ。ズ。但。ソ。ノ。心。情。純

* Jonas Hanway.

誠。志。意。強。毅。死。シ。テ。以。テ。夫。事。ヲ。擔。當。シ。生。時。ニ。ソ。ノ。志。ノ。成
就。ス。ル。ヲ。見。ル。ヲ。得。タ。リ。死。後。ニ。至。リ。ソ。ノ。說。マ。ス。ク。英。國。及
ビ。文。明。諸。邦。ニ。行。レ。獄。制。遂。ニ。新。セ。シ。カ。バ。コレ。ヨ。リ。罪。人
瘦。死。ス。ル。モ。ノ。ナ。ク。シ。テ。永。ク。快。安。ノ。福。ヲ。受。ル。ヲ。得。タ。リ。
大。ニ。ス。ル。モ。ノ。ア。リ。若。那。士。翰。回。ノ。如。キ。乃。チ。ソ。ノ。人。ナ。リ。一
匹。夫。ニ。シ。テ。人。民。ノ。利。益。ヲ。増。シ。一。人。ニ。シ。テ。邦。國。ノ。福。祚。ヲ
大。ニ。ス。ル。モ。ノ。ア。リ。若。那。士。翰。回。ノ。如。キ。乃。チ。ソ。ノ。人。ナ。リ。一
千。七。百。十。二。年。波。都。毛。士。ニ。生。ル。十。七。歳。ノ。時。力。斯。本。ニ。往。キ。
一。商。家。ノ。徒。弟。ト。ナ。リ。シ。ガ。ソ。ノ。職。業。ヲ。勤。メ。約。信。ヲ。違。ズ。正
直。堅。實。ナル。ヲ。以。テ。衆。人。ニ。敬。重。セ。ラ。ル。倫。敦。ニ。還。ル。ニ。及。ン
デ。俄。羅。斯。商。會。ニ。テ。ソ。ノ。社。中。ニ。入。ラ。ン。ト。欲。セ。シ。カ。バ。翰。回
即。コレ。ニ。從。ヘ。リ。其。後。商。事。ヲ。盛。ニ。セ。ン。ト。欲。シ。彼。得。堡。ニ。至

自効論第八編

二二二

Never despair.

リシガ幾何モナク、英國布疋ヲ二ト車ニ積ミ、波斯ニ向テ
行旅シ、カスピア海ノ東南岸ニ浴ヒ、アハト亞斯的拉拔德ニ着セシ時、忽
チ強盜ニ逢ヒ、大ニ貨物ヲ奪ハレ、僅ニ生命ヲ脱シケリ。コ
ノ時ヨリ「子イ、テスペア」決望セテ失ノ語ヲ記號ニ用シトナリ。
彼得堡ニ住スルコト五年、生意興旺ナリシ後、英國ニ歸ル。十
ハ身體ヲ康健ニセンガ爲、一ハ國人ノ利益アル事ヲ謀ラ
ンガ爲ナリシト云フ。
翰回ハ自己ノ費ヲ節約シ、テ多ク仁善ノ事ヲ爲ス。務ム、倫
敦ノ大道ヲ造ルガ如キ其一ナリ。一千七百五十五年寶曆
法國ヨリ侵伐ノ事アルベシト、流傳ノ説盛ナリシカバ、翰
回ハ海軍ノ人ヲ備ル良法ヲ設クテ欲シ、遂ニロイヤル海軍ヲ
大會ニ於テ、商賈及ヒ船主ヲ集會シ、水軍ノ義兵ヲ備ル

社ヲ立、職役ヲ人ヲ設ク、自ラ主トシテツノ事ヲ綜括ス。コ
レマリオンサイテイ水軍會社ノ起源ナリ。コノ設クテ、邦國ノ利益ト
ナルコト、今日ニ至リテ、益顯ハル。ユノ會社始リテヨリ、六年
ノ中ニ五千四百五十一人ノボーイ傭僮、四千七百八十七人ノ義
兵ヲ會社ニテ教練シ、海軍ニ入レムルコトヲ得タリ。今ニ至
ルマデ、毎年貧家ノ童子六百人ヲ慇懃ニ教養シ、水夫トナ
ラシムルコトナリ。
棄兒ヲ養育スル爲ニ設クル所ヲ育嬰館ト云フ。多年前ニ
托馬士、格藍コレヲ創タリシガ、コレヨリ貧人ノ父母、ソノ
嬰兒ヲ棄ルモノ徒ニ多クナリ。其他弊害少ナカラザリケ
レバ、翰回コレヲ修改セント欲シ、久シキ後ツノ志ヲ成セ
リ。マダコレ育嬰館ハ、亦翰回ノ力ニ頼テ建立セラレ

タリ。然レドモ尤^モソノ勞苦忍耐^{タイ}ノカヲ用ヒシハ。寺領ニ屬スル貧民ノ嬰兒ヲ養育スル事ナリキ。抑モコソ時ニ當リ、ニ心ヲ留^テテ訪察スルモノナカリシ故ニ。ソノ慘苦ノ情^{アリキ}狀。壞惡ノ風俗。日ニ益甚シカリレカバ。翰回^{ハンクワイ}獨リ毅然トシテコレヲ改メ善スルコトヲ以テ已^レノ任トシ。自ラ倫敦中ノ貧人院ニ往キ。ソノ中ハ委曲ヲ查察シ。又法蘭西^{フランス}荷蘭^{オランダ}ニ往キ。貧人院ヲ檢視シ。カクノ如ク五年ノ間辛苦セシ後。一書ヲ著ハシ。ソノ經歷スルトコロノ事ヲ述タリ。コレニ由^リテ處々貧院ノ制度。改革スルモノ多カリキ。一千七百六十年。實^シ永^ク翰回^{ハンクワイ}ノ議。公許ヲ得テ一條ノ律例。新ニ立ツ。曰ク。倫敦各寺領。毎年小兒ノ收受スルモノ若干。發遣スルモノ若干。死スルモノ若干。數ヲ書シ置^ベシトナリ。翰回^{ハンクワイ}ハコ

ノ律例ノ實ニ行^ハレシコトヲ欲シ。自ラコノ事ヲ照管ス。毎朝次第ニ貧院ヲ候察シ。午後巴力門^{バカドール}ノ議士ヲ訪問シ。日々カクノ如ク。年々カクノ如ク。屢^ニ沮壓^シノ論ヲ忍ビ。抵抗^スノ說ニ對^シテ。各人ノ情ニ體貼セシガ。凡^ソ十年ノ後ニ。ソノ功勞ニ由^リテ。マタ一條ノ律例立タリケリ。曰ク死兒ノ名アル中。凡^ソ寺領ニ屬スル嬰兒ハ。貧院ノ中ニテ乳養スベカラス。都府ヨリ數里外ノ遠ニ送^リ。六歳ニ至ルマデ乳養スベシ。ソノ間ハ三年ゴトニ擇バル。保人コレヲ照顧スベシトナリ。貧人コノ律例ヲ喚^ヒテ嬰兒ヲ保存スル律例トイフ。コレヨリ後數年ノ姓氏簿ヲ。前年ノモノニ比較シタレバ。仁人ノ功徳ニ由^リテ。嬰兒數千人ノ生命ノ保^タレシコト見エニケリ。

ソノ他倫敦ノ中ニ設ケタル惠民ノ舉翰回一モ與カラザル
 モノナシ。モントリールブルヂタウシバーバドースニ大火アリケレバ。
 俄ニ募化シテ金銀ヲ集メ災ヲ受タル人民ヲ救助セリ。蓋
 ソノ忠信惻怛ヨリ出テ自私シスルノ心ナキ。久シテ世
 人ノ耳目ニ認ラレシカバ銀舗ホアレト云ルモノ。倫敦ノ
 住民ヲ率井五人相伴ヒテ首相勞爾德ビエートノ家ニ至リ
 翰回ノ一已ヲ忌レ國人ヲ利スルコト大ナレバ官府ヨリソ
 ノ功ヲ表異シ給ハンコトヲ望ミケリ。コトノ事翰回ハ毫モ知
 ザリシガコレニヨリテ海軍給糧ノ監督使ヲ命ゼラル。コ
 ノ職ニ在リ間決シテ包辦者ヨリ贈物ヲ受ズモシコレヲ
 贈ルモノアレバ我職事ニ關係スル人ヨリ一物ヲ受ザル
 規則ヲ立タリトテコレヲ返セシトゾ。翰回死時ノ光景亦

Granvill Sharp.

尋常ニ非ズ病デ死セントスルニ臨ミ依然トシテ旅行ノ
 準備ヲ爲ガ如ク悉ク朋友ヲ會シ訣別ヲ告グ商人ニ借資
 ヲ清還シソノ事務ヲ料理シ清楚ナル衣裳ヲ着テ從容ト
 シテソノ生ヲ終タリ享年七十有四ト云フ。翰回遺下スル
 トコロノ産資二千金ニ滿ズコレヲ得ント欲スル親戚モ
 ナケレバ盡クコレヲソノ識トコロノ貧人孤兒ニ分給セ
 リ。誠ニカクノ如キ正直剛決勤勉ニシテ實心アル人ハ古
 今儔類乏シカルベシ。
 (天)額蘭未爾沙伯黒奴賣買ノコトヲ禁止スル事
 黒奴ヲ放トノ議ヲ建ルモノ。沙伯ヨリ格拉克孫維伯福斯
 勃克斯敦及ビ伯路翰ニ至ルマデ後先相踵テ皆心カラコ
 、ニ盡ス然レソノ唱首ニシテ且最モ剛毅忍耐ナルハ沙

伯ナリ。始ハ麻布商ノ徒弟トナリ。次ニ大炮局ノ書辦トナ
ル。コノ時ヨリ黒奴ヲ釋放セント志ヲ立タリト云フ。沙伯
ハ何事ニテモ勞苦ヲ辭セズシテ。コレヲ學ブコトヲ好メリ。
サレバ麻布ヲ織ルコトヲ學ビシ時。コノ家ニ他ノ徒弟アリ
テ。屢々●レト教法ノ事ヲ議論セシガ。一日コノ徒弟。沙伯
ニ向ヒ。子ハ希臘ノ語ヲ知ザルニヨリテ。經中ノ文句ヲ誤
解ストイヒシカバ。沙伯コレヨリ直ニ希臘ノ語ヲ夜中ノ
業トシテ學ビ。幾何モナクシテコレニ通ズルニ至リ。マタ
一ノ猶太種ナル徒弟ト争辨セシガ。上ノ如キノ故ヨリシ
テ。希伯來語ニ通ズルヲ得タリ。沙伯ノ兄弟維廉ハ。外科醫
ニテ。ミンシシダ。レイニ住シ。貧人ニ治療ヲ施シケルガ。一日黒
人ジヨナタン。ストロングト云ルモノ來リテ。治療ヲ乞ケリ。抑モコ

ノ黒人ハ。罷拔度士西印度ノ嶋英國ノ狀師ニ買レ。倫敦ニ
來リシガ。ソノ主人ニ瘡遇セラレ。跛脚トナリ。目殆ド瞽シ
テ。職役ヲ做シ能ハザルニヨリ。狀師ニ逐ヒ出サレ。道路ニ
乞丐シテ僅ニ命ヲ保チ。遂ニ維廉ノ事ヲ聞テ。尋子來リシ
ナリ。維廉コレニ藥ヲ與ヘ。且コレガ爲ニ周旋シテ。仙巴多
羅買ノ病院ニ入ラシメ。ソノ病愈ケレバ。沙伯兄弟ストロングヲ
家ニ置キ。コレヲ養フ。固ヨリ主人アリテコレヲ認テ是非
ヲ生ズルコトアルベシトハ。毫モ知ザリシナリ。ソノ後ストロ
ングハ沙伯ノ周旋ニ由テ。一ノ藥舖家ニ給事シ。二年ノ間。コ
レニ居ル。一日ソノ主家ノ婦ニ侍シ。車ニ乘リ。道路ヲ過ギ
ケル時。舊主人ナル狀師。偶コレヲ見ルニ。ソノ身體壯健ナ
リシカバ。再コレヲ得ント欲シ。遂ニ市尹ノ捕役二人ヲ用

ヒコレヲ捕テ獄ニ投ジケリ。ストロングハ。沙伯ノ舊恩ヲ思ヒ出
 シ。書柬ヲ贈リ。救ヲ求ム。沙伯ハストロングノ名ヲ忌レタレバ。一
 使ヲ遣リ。コレヲ探問セシムルニ。獄ヲ司ル者カクノ如キ
 人ヲ知ラズト答ヘシトテ。歸リ報ズ。コヽニ於テ。沙伯怪キ
 ニ思ヒ。自ラ牢獄ニ往キ。ストロングヲ見ン。コヽヲ固ク要シ。入ル
 ヲ得テ。見タレバ。前年救ヒタリシ黑人ノ再ビ捉ラレシナ
 リ。沙伯ハ監獄ノ長ニ。コノ黑人ヲ決シテ他人ノ手ニ渡ス
 ベオラスト戒囑シ。ワレヨリ直ニ市尹ノ處ニ往キ。牌票ナ
 クシテ。ストロングヲ拘ヘ。獄ニ投ジタリシ人ヲ召ビ。質サン。コ
 ヲ請フ。サテ市尹コレヲ糺問スルニ。ストロングノ舊主ハ。既ニ
 コレヲ他人ニ賣リ。コノ新主ナルモノ黑人ヲ認テ。已ノ所
 有ナリトスル由知レタリ。然上ハストロングニ罪過ナシ。但シ

ヲノ誰某ニ屬スルコノ決斷ハ。市尹ノ關ルコヽニアラザレ
 バ。市尹速ニ黑人ヲ赦シテ。沙伯ニ付シ。伴フテ家ニ歸シム。
 其後。幾何モナク黑人ノ新主ヨリ。沙伯ニ書ヲ與ヘ。我官府
 ニ控告シ。汝ノ奪トコロノ黑人ヲ取還スベシトゾ言ヤリ
 ケル。
 一千七百六十七年明和四年ノ比。英國人民ニ自主ノ權アルコ
 ヲ。議論上ニハ言シカドモ。實事ニ於テハ。大ニコレト違背
 セリ。蓋シ或ハ人ヲ強テ海軍ノ役ヲ執シメ。或ハ人ヲ拐帶
 シテ。東印度公司ノ厠役トナシ。或ハ迫リテ人ヲ船ニ乗テ。
 亞墨利加ニ送リ。人種ヲ植ユカ。ル事ドモ。倫敦及ビソノ
 他大都會ニテ。日々ノ如クアリシナリ。黒奴出賣ノ告示ハ。
 公然トシテ。倫敦立拔普爾ノ新聞紙ニ載タリ。黒奴ノ逃走

Mansfield.

スルモノハ賞格ヲ掲ゲテコレヲ尋子出スモノヲ募レリ。サレバコノ時英國ニテ人奴ハ事未だ定論アラズ。律法院ニ於テモ首鼠兩端ノ説ノミナリ。沙伯ハ原告人ヲ防ント欲シ衆ノ狀師ニ謀リコノ事ヲ辯白センコトヲ望ミシガ皆沙伯ノ議論ヲ以テ是ナラズトシテコレヲ肯スモノナシ。シカノミナラズコノ時有名ノ大司寇曼士非爾德ノ説ニ。コノ黒人ハ英國ニ來ルウヘハ自主ノ人トナルコト能ハズ。自主ノ人トナラント欲セバ故郷ヘコト歸ルベキナレト言レヨシヲ原告人ヨリ聞ケリ尋常ノ人ナラバカク人如キ事ヲ聞バ争辯スルコトノ企ヲ思止マルベキニ沙伯ハ更ニ奮熱ノ心ヲ發シテ我世ハ律法ヲ學ブモノニ見棄ラレハレバ吾自己ハカニ倚テコトハ訟案ヲ防ザルヲ得ズ然ド

モ平生聖經ヲ讀シテ法律ノ書ヲ開タルコトナシ。イデヤ今ヨリ遍ク法律書ヲ研究シコト曲直ヲ決スベキモハトト言ケリ。沙伯ハ毎日大炮館ニ入テ職務繁劇ナリシカバ深夜或ハ曉早ニ於テ律學ニ從事ス自ラ曰予一種リ奴トナレリ。嘗テ其友ヨリ書柬ヲ贈リシガコレニ答ルコトノ滯滞ナルヲ謝シテ曰ク予今文書贈答ノ事ヲ爲コト能ハズ晨夜睡眠ノ時ヨリ光陰ヲ覓メ出シテ律法ノ疑案ヲ搜索ス如ク事予ニ於テ目前ノ急務ニシテ少モ猶豫スルコト得ザルナリトサレバカクノ如ク務テ許多ノ律法書ヲ通覽シ人民自主ノ理ヲ查究シバカ門ノ條例法院ノ讞案有名ノ公師ノ著書ニ至ルマデ博搜廣羅シテソノ要領ヲ抄録ス蓋シ沙

伯始ヨリ師友ノ助ヲ假ラズ。マタ狀師ノ中ニ一人トシテ已
ノ説ニ同ジキモノナケレバ。全ク自己ノ力ニテ學ビテリ。
然レドモ二年ノ後ニ及テ英國ノ律法曉然トシテ。クノ心ニ
疑フトコロナカリケレハ。遂ニ斷シテ曰ク。英國律法ノ中
決シテ他人ヲ奴使スルヲ以テ直トスルモノナシ。我上帝
ノ恩ニ賴テ。コノ事ヲ究メ知ルヲ得タリトテ。遂ニ一書ヲ
著シ。題シテ「インジョスチス」ヲフトレ。チングスレブレイン
グランド「英律人ヲ以テ奴ト為ルヲ不義トスル論」ト云フ。言少
ク義該ク。明白ナル文辭ナリ。自ラ許多ノ部數ヲ寫シ。コレ
ヲ有名ノ狀師ニ分送リ。黑人ノ原主コレヲ見テ。沙伯ノ如
キ剛毅ノ人ト争テハ。遂ニ敗テ取ルベシト思ヒシカバ。種
々ノ託辭ヲ設ケ。訟事ヲ耽延シ。後和睦ヲ言入タレド。沙伯

許サズ。原告人ノ輔ル狀師ノ輩モ進デコノ案件ヲ任ゼズ。
次第ニ手ヲ引クノ狀ナリ。コレニ由テ原告人コノ訟事ヲ罷
ル。一ノ爲。沙伯ニ三倍ノ費用ヲ賠ヒタリ。又ハ
一千七百七十年。明和マターノ黑人ヲ捕拿スルノ案件
起レリ。或日黑夜ニ水手二人。亞弗利加ノ黑人累斯トイヘ
ルモノヲ捕ヘ。水中ニ拽キ。船中ニ揚テ。口ニ枚ヲ銜マセ。手
足ヲ縛ス。コレ即チ累斯ヲ認テ自家ノ所有トスル人コ
ノ水手ヲ用ヒ。コレヲ拿ヘテ日賣加ノ西印度賣レトスル
モノナリ。累斯ノ哭聲ヲ聞ケルアリテ。沙伯自家ニ往キ。シ
カゾト報テ。沙伯ハ直チニ累斯ヲ呼ビ戻ス。牌票ヲ得テ。ラ
ウエセドニ至リレシ。ソノ舟既ニダウンスニ向テ出帆スコ。
ニ於テ。ハビースコルパス「人身ヲ保存スルノ牌票」ヲ得テ。急ニコ

レヲスピットヘードニ送リシカバツノ舟未ダ發セザル前
ニ達シタリケリ。黑人ハ、沐浴シナガラニ英國ヲ眷戀
願望シテ居タリシガ、忽チ釋サレテ倫敦ニ歸ル。又牌票出
テ、コノ凌虐ヲ行ヒシ人ヲ公廳ニ召シ、大司寇曼士非爾德
ノ前ニ鞫問セラル。上ニ言シゴトク曼士非爾德
ク相反スレド、コノ時曼氏律法ノ議論ヲ避ケ、黑人自由ノ
權ノ有無ニ及バズ、特ニコノ案ヲ斷ジテ、自ラ原主ト稱ス
ルモノツノ明證ナキニヨリ、コノ黑人ヲ寬免スベシト言
ヘリ。
サレバ、此時黑人ノ英國ニ居ルモノ、自主ノ民タルヲ得
ベキト否ザルトハ、判然トシタル定論ハ未ダ有ザリシナ
リ。然レドモ沙伯ハ、ツノ仁愛ノ心勇毅ノ力ヲ以テ、黑人ヲ助

ケ救フ。屢ニシテ、救擧スルニ暇アラズ。後ニ及ンデ、ソメル
セツトノ案件起リテ、黑人自主ノ民タルノ基礎ハ立ケリ。
最要ノ事ナレバ、錄出セザルヲ得ズ。
黑人ソメルセツト云モノ、ソノ主人ニ携ラレテ、英國ニ來リシ
ガ、棄レテツノ家ヲ出ヅ。後ツノ主人コレヲ拿テ、日賣加ニ
送り、コレヲ賣シ、企テタリ。沙伯コレヲ聞キ、例ノ如ク、忽
チ黑人ノ爲ニカヲ出し、公廳ニ於テ主意ヲ述べ、コレヲ助
救ハント欲ス。曼士非爾德オモヘラク、コノ案件ハ、大關係
アル事ナレバ、諸審司ノ意見ヲ聞キ、参考シテ、然ル後コレ
ヲ決スベシト。沙伯ハ、曼氏ノ説已ト異ナルヲ知ガ故ニ、
此、回ハ曼氏必ズ大勢力ヲ出シテ、已ニ抵抗スベシ。然レドモ、
我決シテコレガ爲ニ搖動セラルベカラズト、堅ク脚根ヲ

立タリケル。既ニシテ審判ノ日至リケレバ。沙伯ハ大司寇曼士非爾德
 ノ前ニ於テ公然トシテ試ミラル。沙伯ハ英國ニアルモ
 誰某ヲ問ス。苟モ法ヲ犯シ罪ヲ得ルニ非レバ。ソノ身自主
 ノ民タルヲ得テ自由ノ權ヲ受メシト云ル。大道理ニ本
 キ。久ク相議論シケルガ。コノ日決シガタク。他日ヲ期シテ
 止ス。ソノ期至レバ。又遲延セラル。カクノ如キ。二回ニ及
 ブ。大司寇曼士非爾德ハ大量ノ人ナレバ。沙伯ノ論ヲ思想シケル
 ガ。遂ニ沙伯ノ説ヲ以テ是ナリトシ。マタ陪審ニ及バズト
 テ。公然コノ案ヲ決シテ曰ク。他人ヲ以テ己ハ奴トナセル
 訟案ハ官府コレヲ扶持スルト能ハズ。英國ノ律法ニ於テ
 コレヲ許スモハナシサレバ。ソノルセツトハ放サレテ自主ノ

人トナルベシト。コノ曼氏ノ斷案ニ由テ。沙伯ノ宿志始テ
 達シ。黒奴賣買ノ事永ク除キ去ルヲ得タリ。沙伯マタ論ヲ
 立テ。凡ソ奴僕ソノ足ヲ英國ノ地ニ着タランニハ。ソノ時
 ヲリ直ニ自主ノ人タルベシト云リ。抑モ曼氏ノ大決斷。嘉
 スベシト雖也。然レ沙伯ノ剛毅忍耐ニシテ。始終怠ラス倦
 ガルニ頼テ。コノ惡弊遂ニ除去トヲ得タルナリ
 コノ後。沙伯シールラ子ノ新州府ヲ以テ。救ハレタル黒人
 ノ住處ト定メ。コノ事ヲ經紀セリ。又亞米利加新州府ノ土
 人ヲ寬待優處スルコヲ務メ。又英國人民ヲシテ。國政ノ權
 ヲ増シメタリ。沙伯オモヘラク。英國ノ水夫及ビ亞米利加
 ノ黒人。モトシク律法ノ保護ヲ受テ。自主ノ人タルベシト
 ナリ。沙伯又英國ト亞米利加トノ間ニ争端起リシヲ息シ

ト欲シ。ソノ事ヲ周旋セシガ。不幸ニシテ效アラズシテ。遂ニ鬪戦トナリシカバ。沙伯ハコレヲ惡ミ。ソノ事ニ關係スルヲ欲セス。因テ大炮ノ官職ヲ辭シケリ。然ト雖。奴僕ノ法ヲ廢スルハ。終身ノ目的ト爲テ。暫クモ怠ラス。同志ノ友次第ニ多クナリシ故ニ。廢奴會社ト稱スルモノヲ創メタリ。コレヨリシテ沙伯ノ志。他人ニ傳逸シケリ。抑モ今日ヨリコレヲ觀バ。廢奴ノ議論ハ。極テ公正ニシテ。疑ヲ容ルトコロナシ。然レソノ當時ニアリテハ。黒奴賣買ノ事。久ク人ノ耳目ニ慣ヒ。當然ノ如クナリケレバ。コレヲ非トスルモノ。却テ衆論ニ排擯セラレ。有名ノ狀師ト雖。一人トシテコレヲ是トスルモノナシ。然ニ沙伯獨リ一己ノ定説ヲ執リ。邦國ノ陋習ヲ破リ。人民自主ノ權ヲ固シ。永ク黒奴

ノ苦厄ヲ救ヒタルハ。豈ニ偉然タル大丈夫ニアラスヤ。コレニ繼テ。格拉克孫。勃克斯敦。廢奴ノ事ニ力ヲ盡シ。獨リ英國ノミナラス。凡ソ地球上屬國ノ民ヲシテ。ミナ自主ノ民トナリ。一人モ奴僕ナキニ至ラシマタリ。コレソノ功。マタ大ナリトイフベシ。

⑦ 勃克斯敦ノ讀書法并ニソノ名言

勃克斯敦曰ク。一書ヲ讀ミ。畢ラザレバ。決シテ他書ヲ讀ミ。起スベカラズ。一書讀ミ。畢ルト雖。書中ノ意義ヲ悉ク。領略セザルウチハ。決シテ他書ヲ思フベカラズ。且。何事ヲ學ブ。ニモ。全副ノ心カヲ用フベシ。

勃克斯敦ハ才氣アル人ニアラス。特ニ剛毅ニシテ屈セス。邁往奮烈ナル人ナリ。ソノ言ニ曰ク。大人ト小人トノ別ハ。

特ニ剛毅ト剛毅ナラザルトノ別ノミ人一タビ志ヲ定メ
 バソノ後或ハ死スベク或ハ成就スベク決シテ中廢スベ
 カラスコノ剛毅ノ志由テ地球上何事ニテモ能シ得ラ
 ルベシタトヒ才能アリトモ好遭際アリトモ好機會アリ
 トモ剛毅ノ志ナクレバ兩脚ノ生物ヲレテ一箇ノ人トナ
 ラレムルコト能ハズト言リ

斯邁爾斯自助論第八編終

